

エッジテクノロジーにフォーカスして開催、6000人超が来場、専門セッションに立ち見



協会主催の組込み×IoT総合技術展「Embedded Technology West 2019/IoT Technology West 2019」がグランフロント大阪で開催された。昨年11月の横浜、今年2月の名古屋に続き、エッジテクノロジーに焦点を当てた。6000人超の来場者がつめかけた展示会、立ち見が出るほど盛況だった基調講演など、2日間にわたり大いに盛り上がったET・IoT Westをレビューする。

6月13日、14日の2日間、協会主催の組込み×IoT総合技術展「Embedded Technology West 2019/IoT Technology West 2019」が、グランフロント大阪で開催された。6000人超の来場者と95社(178小間)の出展社が集結した。特に2日目の3329人は1日の来場者数では過去最高だった。横浜、名古屋に続き、エッジテクノロジーに焦点を当てた展示会を矢継ぎ早に開催することが奏功したといえる。クラウド側からより現場に近いエッジ側へと組込みの技術やソリューションの重心が移る状況をうまくキャッチアップし、情報を発信した格好である。エッジテクノロジーの総合技術展としてET・IoT展のプレゼンスが高まったことは間違いない。

ET・IoT Westは今回で13回目、JR大阪駅に近く交通の便の良いグランフロントに会場を移して6回目の開催である。西日本からの来場者が90%を占めるなど、大阪での開催はしっかり根を下ろした。熱心に質問する来場者がつめかけた展示会、立ち見

が出るほど盛況だった基調講演、大阪(関西)らしさがキラリと光ったWest独自企画など、2日間にわたり大いに盛り上がった。

組込みAI、IoTセキュリティ、自動運転など来場者の関心が高い展示が目白押し

旬のテーマであるエッジテクノロジーに焦点を当てた展示会ということもあり、展示会場には多くの来場者が押し寄せた。AI対応のエッジコンピューティング、AIの推論機能を組込んだFPGAの開発、予防保全や画像認識等へのAIの応用、IoTセキュリティ、IoTソリューションの試作サービス、IoTのモニタリング、5G、LoRaやSigfox、NB-IoTといったLPWA (Low Power Wide Area)、自動運転のデモ、機能安全認証対応ツール、スマート工場など来場者の関心が高い展示が目白押しで、ブースの説明員に熱心に質問をする来場者を多く見かけた。もちろん、CPUやSSD、I/Oなどを搭載したボード、IoT向けボード、ソフトウ

エア開発環境など、ETらしい展示もしっかり押さえており、組込み×IoT総合技術展としての役割をきっちり果たしたと言える。出展社と来場者にとって実りの多い展示会だったことは間違いないだろう。

基調講演やテクニカルセッション、出展者セミナー、特別講演、JASAセミナーで構成する専門カンファレンスの人気が高いのもET・IoT展の特徴である。今回は計43セッションに、のべ4000人を超える受講者が集った。熱心にメモを取るなど、多くの受講者が講演に聞き入っていたのが印象的だった。

とりわけ自動運転、MaaS (Mobility as a Service) 時代の組込みソフトウェア開発、組込みAI (エッジディープラーニング)、5G時代のエッジコンピューティング、IoTの方向性と可能性といった、組込み技術者の関心が高いタイトルが並んだ基調講演の集客力は強く、会場のキャパの80%を超えるセッションが続出した。最新の組込み技術やソリューション、ビジネスモデルを知る

基調講演は次世代のIoT、AI、モビリティをテーマに、注目のスタートアップ企業を含む5名が登壇、多くの聴講者を集めた。



FogHorn Systems
遠藤 雄太氏



LeapMind 松田 総一氏



アセントロボティクス
石崎 雅之氏



デンソー 梶岡 繁氏



東洋大学 坂村 健氏

JASAブースでは、技術本部による成果紹介とETEC試験コーナーで協会をアピールした。



安全性向上委員会、IoT技術高度化委員会、状態遷移設計研究WGが展示。

ことのできる有益な場となった。恒例となっている坂村健INIAD(情報連携学部)教授/学部長のセッションでは、講演2日前に公開したばかりIoT住宅「Open Smart UR」のモデルルームが紹介され、IoTを始めとする組込み分野の先進性と可能性を受講者に強く印象づけた。

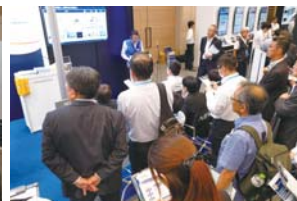
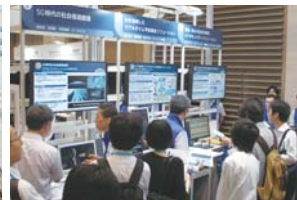
大阪風味がきた ヒートアップセッションなど West独自企画が大いに盛り上がった

専門セッションのうち、Westの独特色を打ち出し盛り上がったがヒートアップセッションとフューチャークリエイションセッションである。以下に並べたタイトルを見るだけでも、企画に込めた“熱さ”が伝わってくるだろう。

■ヒートアップセッション

・IoTのプロ達と考える「IoT活用術！」
～IoTは、ほんまに使えん？ どないしたらええかをぶっちゃけトーク～

展示会場では95社・団体が出展(178小間)。いよいよ実現される5GへのアプローチやAIによる高度なリアルタイムソリューション、自動運転など最新のテクノロジーが展示紹介された。



基礎から旬の技術まで、分野のエキスパートがじっくり技術解説するテクニカルセッションは、今回も満席の賑わいを見せた。

ヒートアップセッションの様様。Westならではのテーマ、顔ぶれが魅力のひとつ。ETロボコンのミニレース「ETWest杯」も恒例イベントに。



フューチャークリエイションセッションの様様。お題(太陽の塔、など)を絵で描き伝えていき伝達能力を試すプレイングゲームなど織り交ぜ、最後はグループで考え出した「ITエコシステム」をそれぞれに披露。初の試みながらおおいに盛り上がったセッションとなった。



・組込みレガシーコードTDDLレシビ
・オープンイノベーション推進の謎を解く！
～産学のエキスパートで未来を語る～
・今年もロボットを動かします。ETロボコン2019の見どころ、勘所！～働き方改革の波がETロボコンにも。。。今年チャレンジングな競技が期待できる走らせ方改革？！

■フューチャークリエイションセッション
・いかがわしく組込め！日本のITエコシステム～大阪・関西万博から仕掛ける未来の日本～
このうちフューチャークリエイションセッションは、大阪・関西万博とSDGs(持続可能な開発目標)を題材にしたアイデアソン(実践参加型ワークセッション)である。37人の参加者が6チームに分かれてアイデアを競い合った。West初めてのアイデアソンだが、「刺激を受けた」「楽しかった」「来年も開催するなら参加したい」と参加者の反応は良好だった。他のセッションに比べて参加者に占める女性の比率が高いのも印象に残った。

なお「ET×ETによって実現するスマートな社会」をテーマに掲げるET・IoT 2019は、11月20日から3日間にわたってパシフィコ横浜で開催される。現在、各種の企画を仕込み中である。期待してもらいたい。